市の取り組みをみんなで共有

「みんなでつくろう 市民トーク」が市内10会場で開催され、693人の皆さんが参加しました。今回の市民トークでは、主に今年度からスタートしました「第2次総合計画」の重点プロジェクトについて説明を行いました。また、地区が希望した市政内容の説明、皆さんからの質問票などによる質問や意見などに回答しました。

問い合わせ　秘書広報課　小林　☎(23)0052

市からの説明概要

安全安心を目指し

これまで市民の皆さんと策定した津波防災計画に基づき、津波避難タワー・ビルなどが順次完成しています。レベル1対応の防潮堤については、平成34年度完成を目指し整備に取り組みます。

また、市民意識調査結果による、浜岡原子力発電所については「停止をしておいたほうがよい」という意見が、過半数を超えました。市はこれまでどおり、「浜岡原発の永久停止」を訴えていきます。

医療の充実に向け

子ども医療費の無料化も大きな施策のひとつです。10月から中学生までの医療費が「無料」になります。

榛原総合病院の産婦人科については、担当医の退職などにより分娩ができませんが、安心して子育てができるよう、引き続き医師確保に努めてまいります。また、同院では循環器内科と心臓血管外科を合わせた心臓病センターが誕生しました。

高齢者の皆さんが、健康で、住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように、医療や介護の現場だけでなく、自治会とも協力して、地域包括ケア体制を整えていきます。

これからの公共施設

これから子どもの数が減少していく中、避けて通れない問題として、学校の統廃合があります。

これは一部の学校の問題というだけでなく、子どもの教育にとって何が一番重要かという観点に立ち、市全体で方針を考える必要があります。

公共施設マネジメントという面から考えても、市内公共施設の半分近くは、教育関連施設であり、将来それらを全て維持管理していくことは、現実的に厳しいと言えます。

産業の活性化の取り組み

津波防災対策を実施している沿岸部は、民家が密集しています。山間部は大手企業が多く、業績は順調に回復しています。これは市の法人税収入額を見ても明らかです。

また、これまで民間によるサービスが提供されていなかった山間部に、光ファイバ網の整備を行います。

相良牧之原インターチェンジ周辺の高台は、地理的要件において高い可能性を秘めた区域です。この高台を長期的なビジョンに立ち、新たな土地利用に取り組みます。

富士山静岡空港は運用時間が延長されたことや、中国からの増便により非常ににぎわっております。

現在フル稼働中の空港は、ターミナルを増設するなどして機能を向上させ、将来的には空港に接続する新幹線新駅の実現を目指します。

茶業の現状

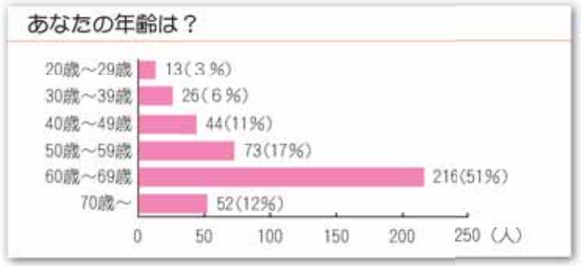
市の基幹作物であるお茶は、今年の一番茶も大きく値下がりし、例年にも増して厳しい状態が続いています。

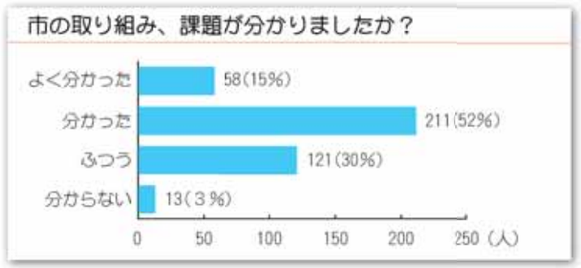
お茶の健康効果や効能の紹介、市内飲食店による「まきのはら茶づけ」の開発、増加する中国からの訪日旅行者の需要開拓など、これまで以上のPRをしながらも、農地の集積や他作物への転換を、真剣に考えていく必要もあります。

今年度は市制施行10周年を記念し、さまざまな事業を実施しています。皆さんも各行事に参加して、大いに市を盛り上げましょう。

◆みんなでつくろう市民トークのアンケート結果。

今後の取り組みに活用するため、会場でアンケート調査を実施しました。





◆市内10の小学校区を単位とした地区ごとに開催しました。

各会場データ（地区が希望した市政内容・質問や意見、参加人数）

地　区	実施日	地区が希望した市政内容・質問や意見（主なもの）	参加人数
片　浜	6月23日㈫	▶150号バイパス▶地区の道路計画▶茶業の将来性▶片浜小学校の統廃合	54人
相　良	26日㈰	▶津波避難施設▶防潮堤▶民生委員の選任▶人口減少	80人
川　崎	29日㈪	▶土地取得に伴う対応▶勝間田川防潮堤竹林▶廃棄物処分場計画	106人
細　江	7月1日㈬	▶浸水対策▶公園および水門などの管理	84人
地頭方	3日㈮	▶地頭方小学校の移転▶少子高齢化▶榛原総合病院	54人
勝間田	7日㈫	▶人口減少▶茶業の低迷による農地の活用	80人
菅　山	10日㈮	▶富士山静岡空港▶菅山公民館の耐震工事	67人
坂　部	14日㈫	▶今後の農業▶外国人観光客などの受け入れ▶新幹線新駅	51人
萩　間	21日㈫	▶防災対策▶少子高齢化▶公共交通	72人
牧之原	28日㈫	▶浜岡原子力発電所▶マイナンバー▶光ファイバ網の整備	45人
		計	693人

＊各会場の会議録は、市ホームページや両庁舎の情報公開コーナーで閲覧できます。